

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



緑小だより 春休み号

令和7年3月25日（火）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 菅野 康一

【今、わたしは、ぼくは】

正門の桜の花も芽吹き始め、いよいよ本格的な春の訪れを感じるようになりました。おかげをもちまして、本日の修了式をもって、今年度の教育活動を終えることができました。3月19日の卒業式では、6年生が堂々とした立派な態度でこの緑が浜小学校を巣立っていきました。6年間積み重ねてきた学び、仲間と築き上げた絆、そしてかけがえのない経験に自信と誇りをもって、中学校でも元気に頑張ってくれることを願っています。在校生を代表して参加した5年生の態度も素晴らしいものでした。最高学年としてのバトンを受け継ぐ重みを感じながら、自分たちの役割をきちんと果たそうという真心と自信が伝わってきました。

— . — . — . — . — . — . — . — .

卒業式で紹介した6年生の「今、わたしは、ぼくは」の一文を紹介します。

『私は、相手の気持ちや、言葉の大切さを考えられる人になりたいと思いました。理由は、国語の授業の「考えるとは」の授業をした時に、人の気持ちは完璧にわからないと思った事と、言葉は大切だなと感じた事があるからです。みなさんは、相手の気持ちを考えたことや言葉の大切さを考えた事がありますか？私は考えているつもりでも、相手はどの

ように感じているのかわかりません。相手の事を考えて行動したとしても、相手は本当にそう思っているのかわからないので、とても難しいなと思いました。

言葉の大切さを感じたのは、自分が軽く言ったとしても、相手には重く感じていたことがあったのがきっかけでした。それと言葉は、他人をはげましたり、元気にさせることもあれば、人を傷つけてしまうこともある不思議な力だなと思ったからです。だから私は、相手の気持ちを考えて行動ができる、言葉の大切さを考えられる人になりたいです。そして、そのような人になって言葉をたくさん使っていきたいです。』

言葉の大切さを改めて全校に伝えていきたいと強く思う一文でした。

保護者の皆様、地域の皆様、いつも緑が浜小学校を見守りいただきましてありがとうございます。新年度もよろしく願いいたします。

